

株主の皆様へ

変革の行動を推し進め、
収益基盤の再構築に取り組み、
持続的な成長と企業価値の向上を
果たしてまいります。

代表取締役社長
嶋山 芳夫



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第121期上半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

経営環境について

ウクライナ紛争の長期化や中国のゼロコロナ政策を背景としたサプライチェーンの混乱、原材料やエネルギー価格の高騰、物価上昇に伴う個人消費の低迷が懸念されるなど、予断を許さない経営環境が続いています。

印刷業界におきましては、生活様式の変化に伴うデジタル化の加速による紙媒体の需要減少に、燃料費や原材料価格などの高騰も加わり、依然として厳しい状況が続きました。

業績について

当上半期の業績は、売上高は70億96百万円(前年同期は74億95百万円)となり、電子部品製造事業の利益改善はありましたが、狭山工場への移転に伴う草加

工場の一時的な生産停止により、損益面では営業損失1億57百万円(前年同期は27百万円の損失)、経常損失1億23百万円(前年同期は1億4百万円の利益)となりました。特別損失として、上記の工場移転に伴う関連費用1億13百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億78百万円(前年同期は3億57百万円の損失)となりました。

セグメント別では、印刷事業は、展覧会の図録等の増加はあったものの、カタログ・パンフレットや事務用印刷物の減少等で減収となり、原材料費の高騰に加えて、工場移転に伴う一時的な生産停止が影響し減益となりました。

また、電子部品製造事業は、フラットパネルセンサー事業の生産終了に加え、中国上海でのロックダウン等による市場低迷の影響から減収となりましたが、エッチング精密製品のファブレス体制への移行等による固定費の減少により営業損失は大幅に縮小となりました。

当グループの取り組みについて

印刷事業では、営業部門においては、需要が拡大する電子書籍市場において、当社の強みのひとつである映像・動画などのリソースやエンドユーザーの志向を分析するマーケティングツールを組み込むなどした、新しい形態のデジタルブックを提供するサービスを開始しました。生産部門においては、新たにビジネスフォームに特化した工場を本年9月に竣工、一部稼働を開始しました。10月からの本稼働により安定的な生産を行い、上半期に低迷した利益の改善を図ってまいります。

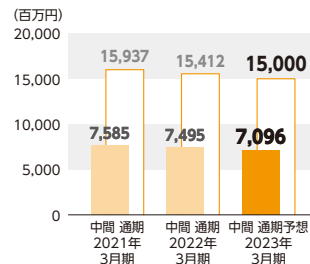
今後の見通しについて

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、直近に公表した業績予想通り、売上高150億円、営業利益3億50百万円、経常利益4億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億80百万円としております。また、期末配当予想につきましては、1株あたり50円としております。

当グループでは、全社員が一丸となって変革の行動を加速し、新たなビジネスモデルの構築と既存ビジネスの構造改革を進め、収益力の強化、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を果たしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

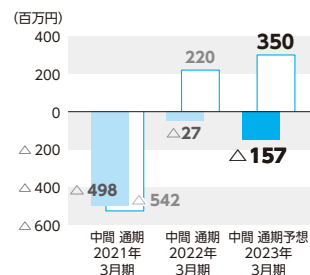
売上高

7,096
百万円



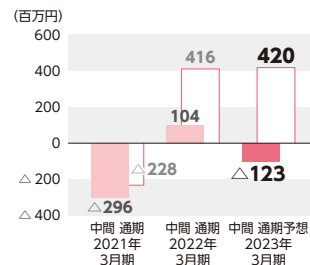
営業利益

△ **157** 百万円



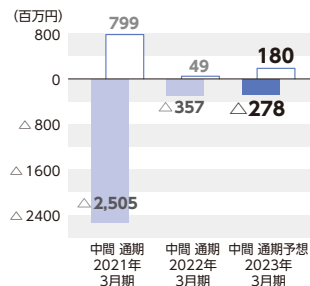
経常利益

△ **123** 百万円



親会社株主に
帰属する中間純利益

△ **278** 百万円



セグメント別事業報告

印刷



当事業では、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、包装・パッケージ、映像制作などを扱っております。展覧会の図録等の増加はあったものの、カタログ・パンフレットや事務用印刷物の減少があり、売上高は66億43百万円(前年同期は68億86百万円)となり、原材料費の高騰に加えて、狭山工場への移転に伴う草加工場の一時的な生産停止もあり、営業損失は3億37百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

不動産賃貸等

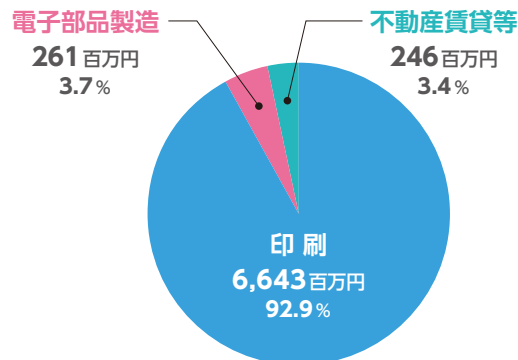
当事業では、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電の事業を扱っております。売上高は2億46百万円(前年同期は2億60百万円)、営業利益は1億83百万円(前年同期は1億94百万円)となりました。

電子部品製造



当事業では、エレクトロニクス分野で使用されるエッチング精密製品などを扱っております。フラットパネルセンサー事業の生産終了に加え、中国上海でのロックダウン等による市場低迷の影響を受け、売上高は2億61百万円(前年同期は4億14百万円)となりましたが、エッチング精密製品のファブレス体制への移行等による固定費の減少により営業損失は3百万円(前年同期は2億11百万円の損失)となりました。

売上高構成比



当社狭山工場が 稼働を開始しました

当社狭山工場が竣工し、10月より本格稼働を開始しました。同工場では、草加工場で扱っていた物流伝票(複写・ラベル)、CVS(コンビニエンスストアで使用する透明シート付の配送伝票入れ袋)、一般帳票、添付文書、データプリントサービスといったビジネスフォームを中心とした生産を行います。また、お客様の個人情報や機密文書等を扱うため、最新のセキュリティシステムを導入し、各種認証制度も継承しています。今後、注力事業として伸長を見込む同分野において安定的な生産を行い、収益体制を確立してまいります。



株主優待カレンダーのご紹介

現代に活躍するアーティストを取り上げる「現代の視点シリーズ」。第三弾となる2023年の当社カレンダーは、美術家の伊庭靖子氏をお迎えして制作しました。伊庭氏の作品は、まるで描かれたモチーフがそこに存在するかのような精緻な絵の世界が特徴です。企業理念「ともに作り、ともに伝える。」を体現するカレンダーとして、作家とともに企画から印刷までこだわりを持って作り上げました。まるで小さな回顧展のような、アートとの一対一の出会いをお楽しみください。

カレンダーは9月30日現在、1単元株以上をご所有の株主様へ12月中旬以降、順次お届けする予定です。



会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	光村印刷株式会社
創業	1901年10月20日
設立	1936年12月21日
資本金 <small>(資本剰余金を含む)</small>	100億57百万円
従業員	431名 (連結685名)



狭山工場

〒350-1331
埼玉県狭山市新狭山
一丁目3番6号
電話：04-2955-1018

事業所



本社

本 社

〒141-8567
東京都品川区大崎
一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店

〒541-0042
大阪市中央区今橋
二丁目2番17号
グロース北浜ビルディング3階
電話：06-6229-5120



坂戸事業所

〒350-0214
埼玉県坂戸市千代田
五丁目3番17号
電話：049-227-6764

川越工場

〒350-1165
埼玉県川越市南台
一丁目1番地1
電話：049-242-4025

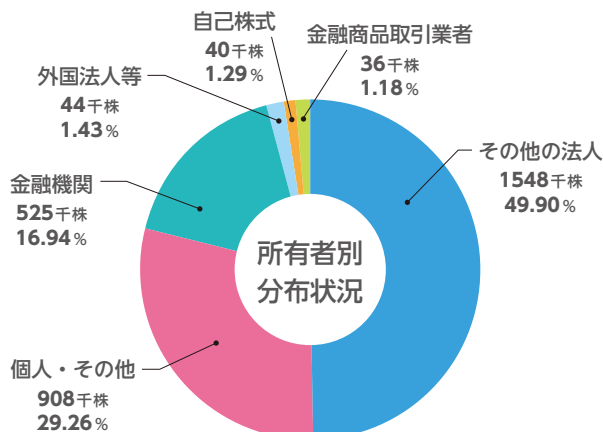


関係会社

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

株式情報 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	9,947,800 株
発行済株式の総数	3,103,420 株
単元株式数	100 株
株主数	2,620 名



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.71
DIC株式会社	457	14.92
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	114	3.74
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.68
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
株式会社十六銀行	66	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	51	1.69
三菱HCキャピタル株式会社	48	1.59
株式会社みずほ銀行	45	1.47

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当の基準日	3月31日及び中間配当の支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

定時株主総会の開催 毎年6月

公告の方法

電子公告

(<https://www.mitsumura.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

【郵送先】〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社

証券代行部

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話0120-782-031 (通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT



光村印刷株式会社 [東証スタンダード：7916]

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目 15 番 9 号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記の QR コードからもご覧いただけます。

